

第103回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

繰越利益剰余金	仕	入	減価償却費	株式交付費
未払金	貯蔵品		別途積立金	繰越商品
備品	消耗品		資本準備金	固定資産除却損
利益準備金	未収入金		前受金	株式交付費償却
備品減価償却累計額	売掛金		資本金	未払配当金

1. 株式会社加藤商会（決算：年1回・1月31日）は、平成14年2月1日に購入した商品陳列用ケース（取得原価 ¥ 400,000）を平成20年1月31日に除却した。なお、この商品陳列用ケースは直ちに倉庫に保管し、その処分価額を ¥ 50,000 と見積もった。ただし、商品陳列用ケースの耐用年数は8年、残存価額は取得原価の10%、定額法によって償却し、間接法で記帳しているが、当期分の減価償却費の計上もあわせて記入すること。
2. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
3. 伊東商事株式会社（発行済み株式総数300株）は、平成20年6月26日の定時株主総会において、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。ただし、平成20年3月31日（決算日）現在の資本金 ¥ 20,000,000、資本準備金 ¥ 2,600,000、利益準備金 ¥ 2,200,000 であった。
 - ・配当金：1株につき ¥ 5,000
 - ・別途積立金：¥ 300,000
 - ・利益準備金：会社法の定める必要額
4. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)